



太陽熱反射防水層保護被覆材

ナルファルトトップ 遮熱

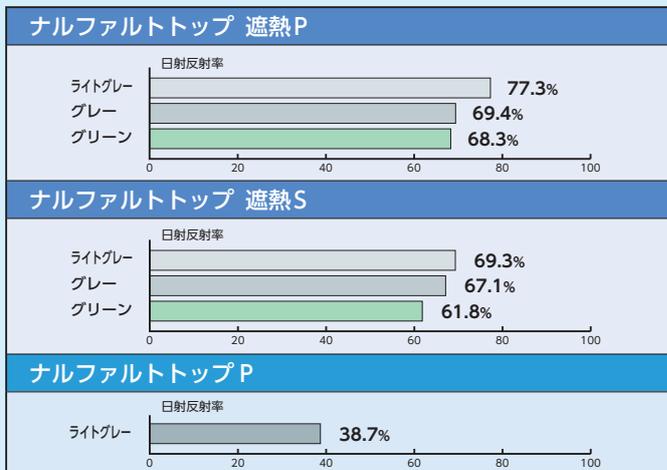
ナルファルトトップ遮熱は、屋根に作用する太陽の輻射を遮断し、建物内部の温度上昇を緩和する太陽熱反射塗料です。屋内環境の向上及び冷房用エネルギーの節約に貢献します。



特長

- ▶ 抜群の遮熱効果で冷房効果を大幅アップします。高反射性の特殊顔料(セラミック等)を含有することにより、高い反射性を発揮します。夏場、屋根裏面の温度が10℃～20℃低下します。
- ▶ 塗膜中の水溶成分溶出低減。塗膜乾燥初期の降雨により塗膜から溶出する水溶成分を抑制することで、排水の泡及びCOD値上昇を低減しました。
- ▶ 水性1液タイプのため、安全性が高く、環境に優しい塗料です。

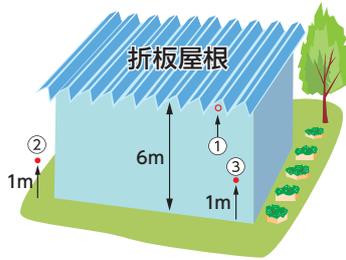
反射率



標準施工仕様

タイプ	遮熱P(非歩行)	遮熱S(軽歩行)	注意事項 <ul style="list-style-type: none"> ● 密栓して室内に保管して下さい。 ● 水性塗料のため5℃以上湿度85%未満で保管・施工して下さい。 ● 使用前によく攪拌して下さい。 ● 施工後24時間以内に雨が降らないようにして下さい。 ● 塗装用具は直ちに水洗いして下さい。 ● 原則無希釈で使用して下さい。止むを得ない場合希釈率3%以下にして下さい。 	色  ライトグレー・グレー・グリーン ※この色見本は印刷上、実物と多少異なる場合があります。
防水層	ナルファルト防水			
素地調整	ゴミ・埃・油等除去			
塗装用具	ローラー・ハケ			
塗布量	0.25kg/m ² ×2回	0.5kg/m ² ×2回		
塗装間隔	3時間以上			
荷姿	15kg 石油缶	20kg 石油缶		

塗装実例



測定箇所	塗装前	塗装後	温度差
①屋根裏面温度(°C)	64.0	48.5	15.5
②外気温(°C)	36.0	36.0	-
③室内温度(°C)	35.0	33.0	2.0

熱伝導率の大きい鋼板屋根にナルファルトトップ 遮熱を塗装しました。室内温度で 2.0°C の温度差が確認できました。

※上記測定値は弊社での試験結果であり、実際に塗装した現場(建物)の遮熱効果を保証するものではありません。

製品性状

項目	規格値		備考
	遮熱P(非歩行)	遮熱S(軽歩行)	
タイプ	遮熱P(非歩行)	遮熱S(軽歩行)	
粘度 (mPa・S23°C)	1,300 ± 600	5,500 ± 2,500	JIS K5400 4.5.3 B8H 粘度計 20npm
加熱残分 (%)	56.0 ± 3.0	70.0 ± 3.0	JIS K5601-1-2 105°C × 1h
耐温水性	異常なし	異常なし	50°C 温水浸漬 4 日間ワレ・フクレ・変色がないこと
耐水性	異常なし	異常なし	水道水浸漬 7 日間ワレ・フクレ・変色がないこと
耐アルカリ性	異常なし	異常なし	飽和水酸化カルシウム水溶液浸漬 7 日間ワレ・フクレ・変色がないこと
耐酸性	異常なし	異常なし	3% 硫酸水溶液浸漬 7 日間ワレ・フクレ・変色がないこと
促進耐候性	異常なし	異常なし	キセノンランプ法 500 時間ワレ・フクレがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないこと
乾燥時間	2 時間	2 時間	23°C

注意事項

- 取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用して下さい。
 - ▶ 防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業着・えりまきタオル・保護手袋・前掛けなど容器から出し入れするときにこぼれた場合は、布などで拭き取るか砂などを散布したのち処理して下さい。
 - ▶ 皮膚に付着した場合は直ちに多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診察を受けて下さい。
 - ▶ 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
 - ▶ 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けて下さい。
 - ▶ 取り扱い後は、手洗い・うがい・鼻腔洗浄を十分に行ってください。ナルファルトトップ遮熱 S・P ともにエマルジョン塗料であるため、密栓して、子供の手の届かない冷暗所に保存して下さい。
 - ▶ 凍結させないようにするとともに、高温に長期間放置した場合には変質し、使用できない場合があります。捨てるときは、産業廃棄物として処分して下さい。
- ナルファルトトップ遮熱 S は、重質の骨材が配合されていますので、やむを得ず水で希釈する場合は、速やかに使い切ってください。希釈後は骨材の沈降により、ハードケーキになる場合があります。尚、希釈は 3% 以下にして下さい。
- 水溶塗料のため、施工時の注意をよく守って使用して下さい。
 - ▶ 5°C 以下、湿度 85% 以上及び結露が懸念されるような場合は、塗装を避けて下さい。低温時には特に乾燥が悪くなりますので、規定量の範囲内で、できるだけ薄く均一に塗布して下さい。
 - ▶ 強風時や降雨、降雪のおそれのある場合は塗装を避けて下さい。
 - ▶ 塗料は一度に厚く塗りすぎると乾燥過程でクラックが発生する場合があります。
 - ▶ 塗装完了後、初期に急激な降雨にあった場合、ドレン部等に泡が発生することがありますが、この泡は塗膜中の界面活性剤によるもので、塗膜の異常によるものではありません。
 - ▶ 施工後 24 時間以内に降雨等がかからないようにして下さい。
 - ▶ 使用前によく攪拌して下さい。尚、泡の噛み込みはできるだけ少なくして下さい。
 - ▶ 施工に際しては、埃・油分を十分に除去して下さい。
 - ▶ 用具は使用後乾かないうちに水で洗って下さい。一旦乾燥しますとラッカーシンナー等でないと溶けなくなります。
- 安全データシート (SDS) をご覧下さい。

成瀬化学株式会社

■ 東京本店	〒140-0013	東京都品川区南大井6-17-7	TEL.03(3763)4113(代)
■ 名古屋営業所	〒451-0052	愛知県名古屋市中区栄生1-35-20	TEL.052(586)3811(代)
■ 大阪営業所	〒530-0047	大阪府大阪市北区西天満4-5-5	TEL.06(6948)8806(代)
■ 沖縄出張所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地1-1-1	TEL.06(6948)8806(代)
工場	〒519-1107	三重県亀山市関町木崎1703-3	TEL.0595(96)1411(代)

■ <https://naruphalt.com> E-mail: naruse@net.email.ne.jp